



風待ち海道

●隠された路地の
魅力を発見!!



各路地には、左の写真のような通り名の由来を解説したサインを設置しています（左は「目貫通り」の由来です）。風待ち海道エリアを歩くときは、このマップと合わせて由来の解説サインを読んでいただくと、より一層この風待ち海道の散策を楽しんでいただけたと思います。ほかにも、地域資源の解説サインもありますので、そちらも楽しんでください。

西町通り #2 八番館

裏面でも紹介していますが、喫茶店の八番館はご夫婦で経営されているお店です。日曜日も開いているので、フェリーの待ち時間に少し立ち寄ってみるのも良いかもしれません。手づくりのケーキがおすすめです。

☎ (08512)2-3021

永代橋通り #1 お好み焼き7ちゃん

美味しいお好み焼きを食べさせてくれるお店です。地元の人にも大人気!! お昼はお客さんでいっぱいになることも。何度も隠岐に来て、魚介類は食べ尽くしたという方はぜひこちらまで。

☎ (08512)2-3915

目貫通り #17 魚清

魚清は、鮮魚を取り扱いながら仕出し・お弁当（風待ち弁当）まで販売するお店です。風待ち弁当に使う魚介類は地元産にこだわっています。

☎ (08512)2-1541

風待ち海道 #0 利休庵

汽船場通り #25 西郷港ターミナル3階に位置するお食事処の利休庵です。気づきにくい場所にありますが、懐かしい雰囲気を楽しめます。

☎ (08512)2-5570

汽船場通り #5 七軒屋小路

隠岐のお土産といえば、こりょうば。新鮮な魚介類を豊富に取り揃えています。2階では食事とれる施設です。西郷港のすぐ隣なので、出航時間ぎりぎりまで楽しみ、休憩していただくことができますよ。

☎ (08512)2-6600

風待ち海道 #17 家具ヨシオカ

看板娘の吉岡陽子さんは、まちづくり団体風待ち海道倶楽部の会長さんで、いろんな話が聞けますよ。

☎ (08512)2-0180

風待ち海道 #17 サンロード

風待ち海道の天神橋手前に位置するのが飲食店街、ホテルが一箇所に集中しており、ご利用しやすいサンロードです。2階が飲食店街、3階がホテルになっています。

☎ (08512)2-3342

愛の橋通り #36 えびや酒店

色んなお酒を取り扱っています。何を買いにいか迷われたらぜひお店の方と相談してみてください。お土産にいかがですか?

☎ (08512)2-0420

寿坂 #23 料亭寿

寿坂を上った先にあるのが、この料亭寿です。そもそも、「寿坂」の由来自体がこの料亭にちなんでいるくらいに地元住民には愛されている料亭です。料理も美味しいのでぜひ一度味わってみてください。完全予約制です。

☎ (08512)2-0023

汽船場通り #29 風待ちスタジオ

隠岐の魅力発信地です。エコツアーのガイド申し込みはこちらまで! 隠岐の産物を使用したお土産の販売、Tシャツ販売もしています。隠岐のエコツアーの出発点としてご活用ください!

☎ (08512)2-8118

風待ち海道 #3 おき食堂

その名の通り、隠岐ならではの食が楽しめるお店です。「食堂」という名前からもわかるように、親しみやすく入りやすいお店です。西郷港からとても近いので、利用しやすいですよ。

☎ (08512)2-0213

風待ち海道 #17 焼肉醉仙

隠岐と言えば「新鮮な魚!」ですが、実は焼肉も美味しいお店があります。こちら焼肉すいせんもそのひとつです。地元の人からもよく利用されています。港からも近く、周辺には宿泊施設も集中していることからとてもアクセスしやすいお店です。

☎ (08512)2-1662

風待ち海道 #17 八幡黒耀石店

隠岐で唯一の黒耀石取り扱い店です。店主の八幡さんは隠岐の自然・歴史に詳しく、エコツアーのガイドもされています。隠岐のいろんなことが知りたければ八幡黒耀石店までどうぞ!!

☎ (08512)2-0451

風待ち海道 #24 鍋國

鍋國では、やきめしとやきめし茶漬けがお奨めです! 隠岐のやきめしは一般的な焼き飯（チャーハン）ではなく、おにぎりに味噌を塗りそれを焼いたものを指します。このおにぎりをそのままあるいはお茶漬けにしてたべると絶品ですよ。

☎ (08512)2-0231

愛の橋通り #38 旅館松浜

旅館松浜の2代目ご主人は隠岐の歴史に精通しており、隠岐に関する事ならことん話をしてくれます。また、料理もこだわりの食材、料理も隠岐のお酒も楽しめる旅館です。

☎ (08512)2-0163

谷小路 #10 ① 楽焼石の重石

この場所では、民家の屋根に石が並んで置かれているのを目にすることができます。この石は、松江市の来待で採れることで有名な来待石です。なぜ、この隠岐に来待石があるのでしょうか？その答えは・・・。ぜひガイドさんや観光の窓口でお話を聞いてみてください！！きっと、「へえ、へえ、へえ」と言っていたかもしれませんよ。まさに隠岐のトリビアです。ヒントは、「船」「バラスト」です。



だんじり舞通リ #16 ② 乃木大将縁の家

谷小路 #0

だんじり舞通りと谷小路が交差する場所にあるこの家は、明治時代を代表する軍人乃木大将が泊まったことで知られています。



上橋小路 #1 ③ 上橋（本橋）

上橋は隠岐の島町でももっとも古い木製の橋として親しまれてきました。しかし、橋の老朽化が進んだことから平成17年に架け替え工事が行われました。架け替えに際し、「せっかくの木製の雰囲気大切にしよう」ということから、新しく架け替える橋もふたたび木製のものとされました。この小さな上橋を渡り、隠岐の過去に思いを馳せてみませんか？木の香りが清しい気持ちにしてくれますよ。



桜坂 #2 ④ 西郷測候所

⑧溶岩の石垣でも簡単に紹介しましたが、西郷測候所は西郷港周辺では絶好の眺望スポットです。高台にあり、南に西郷湾、金峯山が広がる非常に良好な景観を楽しむことができます。四季それぞれの楽しさを楽しむことができるのも魅力的な場所です。



汽船場通リ #33 ⑤ 大正浪漫の窓

七軒屋小路 #9

西郷港ターミナルを出て東へ少し向かったところにある「大正浪漫の窓」。なんと、大正15年に作られたと言われており、何ともいえない独特の雰囲気があります。隠岐には、比較的新しい住宅に混じって、このような古くからある良い雰囲気を持った家やお店が残っています。街中を歩いてみて、面白いと思ったものがあればぜひお知らせください。



大社小路 #6 ⑥ 出雲大社分院の火石灯

出雲大社の分院に置かれている大きな石灯籠は、高さが5mもあるとても大きな灯籠です。明治6年に作られ、古くは灯台としての役目も担っていたと言われています。隠岐の灯籠には屋根が付いているものが多いことも特徴的です。



汽船場通リ #18 ⑦ しげさ節記念碑

が「エンタル横丁」 #6

西郷港の目の前にあるひときわ目立つホテル、隠岐ビューポートホテルの裏手に隠れるようにして設置されているのが、このしげさ節記念碑です。記念碑には、隠岐しげさ節の歌詞や由来が書かれています。かつて、隠岐が北前船の風待ち港として栄えた頃、日本海沿岸各地から多くの文化が運ばれました。そうした文化は長い年月を経て隠岐の風土や人情に触れることで、隠岐独特の文化になりました。その中でも、島の人々にもっとも愛され、親しまれ、唄われてきたのが、このしげさ節です。毎年5月には「隠岐しげさ節全国大会」が開催されています。記念碑の隣にある隠岐の案内板の足は日本最古の岩石である隠岐片麻岩が使用されています。また、ここはちょっとした広場になっているので、歩きつかれた方はこちらで休憩してみてもいかがですか？



寿坂 #2 ⑧ 溶岩の石垣

寿坂の途中、桜坂の起点にあたるところにある石垣は現在の隠岐ができたときの溶岩でできていると言われています。比較的大きな石垣なので、すぐに気づいていただけたと思います。石垣の上には眺めの良い西郷公園や西郷測候所などがあります。



風待ち海道 #17 ⑨ 隠岐騒動記念碑

一般的には「隠岐騒動」と呼ばれる世界でも稀にみる動きが幕末の隠岐で展開されていました。これは、隠岐の島民が、世界的にも有名なパリ・コミューンよりも3年も早く明治政府から独立、自治政府を樹立した一連の運動です。この自治政府は、最終的には松江藩からの反撃を受け、81日間で終焉を迎えましたが、三権分立の制度を取り入れ、当時非常に先進的な政治システムを敷いたのです。これを記念して建てられたのがこの記念碑です。



風待ち海道 #24 ⑩ ハート型の窓

ここにはハート型をした窓があります。愛の橋もそうですが、隠岐には愛が溢れています。近くには小泉八雲が宿泊した山本旅館がありました。



愛の橋通リ #0 ⑪ 愛の橋

愛の橋は、明治時代にこの橋がなかった頃、この地域に住む子供たちが学校に通うには、遠くの橋まで遠回りをしなければ行けませんでした。雨の日も雪の日もちろん遠回りです。それを見かねた藤原金市という人が私財を投げ打って造った橋です。印象的な「愛の橋」の名は聖書の一節「汝の隣人を愛せよ」から付けられました。



西町通リ #18 ⑪ 愛の橋バス停

西町通りにあるこの「愛の橋バス停」。愛の橋より少し手前があるので、気をつけて探してみてください。愛の橋のももとの由来は隣人愛ですが、ここではカップルで記念写真を撮ると良いことが起こるかもしれませんよ。



汐待ち通リ #22 ⑬ 古典相撲の柱

汽船場通りを西へ向かい、港橋を越えたところの民家の玄関口にひときわ目立つ柱が飾られています。これは古典相撲の役力士が栄誉の印として与えられる柱です。そもそも古典相撲は遷宮（20年に1度）の際に奉納されたのが始まりと言われており、非常に格式の高い相撲です。近年では、地域の大きな節目の際に開催されることが多く、最近では2006年に新隠岐空港開港を記念して開催され2007年9月には隠岐水産高校100周年を記念して開催される予定です。



★ 地域資源解説板

各路地に通る名の由来を記した解説板があるように、そのほかの地域資源に関する解説板も設置しています（右は「愛の橋」に関する解説板です。下の一覧を参照してください）。このマップ、通り名の由来解説板と合わせてこちらの地域資源解説板も読んでいただくとさらに理解が深まると思います。



■ 地域資源解説板一覧

イ：足止め地蔵 ロ：地蔵院 ハ：隠岐騒動 ニ：出雲大社西郷分院
ホ：溶岩の石垣 ヘ：八尾川の風景 ト：水祖神社 チ：愛の橋
リ：古典相撲 ヌ：福かっぱ大明神

黒耀石の道 Obsidian Road

隠岐黒耀石の道

隠岐を代表する岩石の一つであり、石器時代に矢じりとして利用された黒耀石の産地は、国内で50箇所ほど知られていますが、このうち石器の材料として採掘・利用されたのは北海道の白滝、長野県の和田峠、伊豆諸島の神津島、大分県の姫島、佐賀県の腰岳、そして隠岐の6箇所しかありませんでした。

隠岐産の黒耀石が、日本海沿いの国内はもとより約2万年前には朝鮮半島やロシア沿海州地方のウラジオストク、ナホトカまで運ばれていたことが遺跡調査によって判明しています。このことは隠岐産の黒耀石が良質であったため、古代の生活には欠かせない石であったことが想像されます。

この隠岐黒耀石が運ばれた道によってその当時の盛んな人・文化の交流の道も見えてきます・・・。（『隠岐島エコツーリズムOKIまるごとミュージアム』より抜粋）

下の写真は黒耀石の矢じり



風待ち海道エリア人物紹介～この顔にピン!ときたら・・・



松本一利さんは、西郷港周辺でまち歩きガイドをされている方です。オチのある楽しい話して隠岐の歴史や文化を詳しく解説してくれますよ。風待ちスタジオや目貫通りで姿を見かけることができます。見かけたらぜひ声をかけて気になることを聞いてみてください！

ちょっと強面のこの方は、目貫通りにある鮮魚店魚清の大将 英三さんです。大将の手づくり塩辛は、地元でも好評の味ですよ。大将自身も味のある方で、お話を聞くだけでも楽しめます。お気軽に声をかけてみてください。

■目貫通り #17 TEL(08512)2-1541



風待商店街に参加している吉井商店（西町通り）の吉井さんです。生粋の隠岐弁は聞くものを圧倒します。町中で見かけたらぜひ「あおぞら隠岐弁講座」を依頼してみてください。きっと楽しい隠岐弁講座を受けることができますよ。

■西町通り #2 TEL(08512)2-0813

西郷港のすぐそばにあるりょうばの店長松葉さんです。威勢の良いお兄さんで、当然隠岐の魚類には詳しいです。隠岐のお土産に迷ったときは、ぜひ店長さんに相談してみると、いいお土産を教えてくださいませんか？

■汽船場通り #5 TEL(08512)2-6600



隠岐の島を舞台にした楽曲を作っている隠岐のアーティスト広江さんです。CDも自主制作して、好評なんですよ。隠岐旅行の思い出として、CDを買って帰ってもいいかもしれませんね。（隠岐の風、黒耀石の歌、さざえ村の歌etc）

西町通りにある喫茶店八番館のマスターと奥様です。美味しいコーヒーと手づくりのケーキが好評です。お二人との会話でフェリーを待つちょっとした空き時間でも楽しく過ごせますよ。日曜日も開いていますので、お気軽にお越し下さい。

■西町通り #2 TEL(08512)2-3021



旅館松浜の2代目ご主人斎藤一志さんです。隠岐の歴史や文化に詳しく、ある時はエコツアーガイドとして、またある時は風待ち海道エコツーリズム大学の歴史コース講師として活躍しています。町中で見かけたら遠慮なく声をかけてください。

■愛の橋通り #38 TEL(08512)2-0163

愛の橋通り終点近くにあるDoCoMoショップの店長の牧尾さんですが、隠岐騒動にとても詳しい顔を持っています。隠岐騒動で知りたいことがあれば何でも聞いてください。町中をよく歩いているので、見かけたら声をかけてみてください。

■愛の橋通り #38 TEL(08512)2-5445



隠岐島後観光協会のいつも元気な女性スタッフです。（左：野坂さん・右：黒川さん）隠岐観光の出发点として観光協会を訪ねてください。二人が楽しく丁寧に隠岐のおすすめを教えてください。何でも気軽に観光協会へお尋ね下さい。

■汽船場通り #5 TEL(08512)2-0787

島後観光協会に隣接する一畑トラベルサービスのスタッフです。島内の交通、観光バスの手配に関すること、島内観光に関すること何でも聞いてください。島内観光のコーディネイトもしますよ。世間話も大歓迎です。

■汽船場通り #5 TEL(08512)2-1971



町役場の島井さんです。観光協会にもデスクを持つ忙しい人です。広江さんと同じように、島井さんも隠岐を舞台に楽曲を作っているロックアーティストです。役場の粋を飛び越えている人で、困ったことがあれば、丁寧に教えてくれます。

■隠岐の島町役場観光商工課 TEL(08512)2-8575

クロキツタ保全倶楽部会長の幸塚さんです。隠岐へはIターンで来られた方ですが、隠岐の海に関する知識は豊富です。エコツーリズム大学では海洋コースの講師として活躍中です。隠岐の海について知りたいことがあれば何でも気軽に聞いてみてください。

■海中景観研究所 TEL(08512)6-2341

